

各 位

上場会社名 株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ
 代表者 代表取締役社長 笹原 政勝
 (コード番号 6324)
 問合せ先責任者 常務執行役員 長井 啓
 (TEL 03-5471-7810)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,500	2,920	3,370	2,060	20,240.61
今回発表予想(B)	15,800	2,020	2,450	1,440	14,148.78
増減額(B-A)	△1,700	△900	△920	△620	――
増減率(%)	△9.7	△30.8	△27.3	△30.1	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	19,212	4,416	4,738	2,741	26,934.97

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,800	2,650	2,850	1,670	16,408.65
今回発表予想(B)	14,000	1,820	1,980	1,110	10,906.35
増減額(B-A)	△1,800	△830	△870	△560	――
増減率(%)	△11.4	△31.3	△30.5	△33.5	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	16,719	3,732	4,125	2,638	25,926.34

修正の理由

米国のサブプライムローン問題に端を発した世界規模の金融不安は、実体経済に大きな影響を与えており、国内外の経済環境は著しく悪化しております。

このような環境のもと、当社の直近の事業環境につきましても、企業の設備投資が急激に抑制された影響を受け、当社の主要なお客様である産業用ロボットメーカー、工作機メーカー、半導体製造装置メーカー、フラットパネルディスプレイ製造装置メーカーなどの受注及び生産の減少に伴い、これら装置の部品として使用される当社製品の需要が、昨年の12月以降大きく減少いたしました。

今後(第4四半期)の主な用途別の需要動向につきましては、自動車産業の急激な事業環境悪化により、産業用ロボット用途、工作機械用途向けに、主に減速装置の需要が低迷する見通しです。また、半導体製造装置用途、フラットパネルディスプレイ製造装置用途につきましても、一段の市況の悪化により、デバイスメーカー、パネルメーカーの設備投資意欲が減退しており、これら装置に組み込まれる減速装置及びメカトロニクス製品ともに厳しい需要環境を余儀なくされるものと見込んでおります。

この結果、第3四半期の売上高は、前回発表時の予想額と同水準となる見込みですが、第4四半期の売上高は、前回予想の想定額を下回る見通しとなったことから、通期の売上高(連結及び個別)を前回予想に対し下方修正するものです。

また、損益面につきましても、実効あるコストダウン活動や残業の削減、経費節減などに取り組んでおりますが、売上高の減少を補うまでには至らず、営業利益、経常利益、当期純利益の予想額を下方修正するものです。

以上

<業績等の予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績等は判断や過程に内在する不確実性及び今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、将来における当社の業績と大きく異なる可能性があります。